

みずほCustomer Desk Report 2022/02/28 号 (As of 2022/02/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.58
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	115.55	1.1191	129.31	1.3370	0.7160
SYD-NY High	115.76	1.1274	130.28	1.3437	0.7237
SYD-NY Low	115.15	1.1166	128.77	1.3366	0.7139
NY 5:00 PM	115.51	1.1272	130.24	1.3411	0.7237
NY DOW	34,058.75	834.92	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,694.62	221.04	日本10年債	0.2100	2.00bp
S&P	4,384.65	95.95	米国2年債	1.5677	▲0.70bp
日経平均	26,476.50	505.68	米国5年債	1.8685	0.50bp
TOPIX	1,876.24	18.66	米国10年債	1.9695	0.01bp
シカゴ日経先物	26,990.00	720.00	独10年債	0.2205	5.25bp
ロンドンFT	7,489.46	282.08	英10年債	1.4555	1.30bp
DAX	14,567.23	515.13	豪10年債	2.2290	6.10bp
ハンセン指数	22,767.18	▲ 134.38	USDJPY 1M Vol	6.40	▲0.35%
上海総合	3,451.41	21.45	USDJPY 3M Vol	6.48	▲0.38%
NY金	1,887.60	▲ 38.70	USDJPY 6M Vol	6.78	▲0.22%
WTI	91.59	▲ 1.22	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	264.443	▲4.57	EURJPY 3M Vol	8.63	▲0.51%
ドルインデックス	96.62	▲ 0.52	EURJPY 6M Vol	8.60	▲0.29%

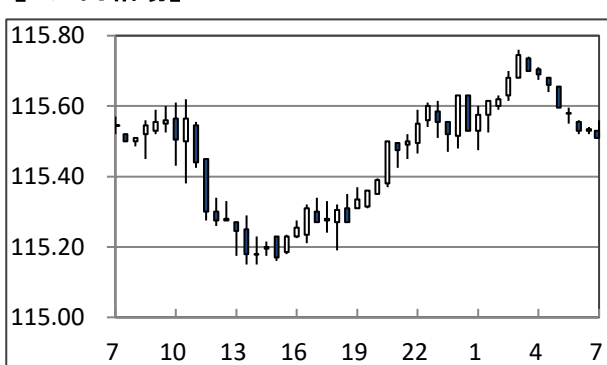
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月25日	16:00	独 GDP(前期比)・確報	4Q -0.3%	-0.7%
	19:00	欧 鉱工業/サービス業 信頼感指数	2月 14/13	14.1/10.2
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 -8.8	-
	22:30	米 個人所得/個人支出	1月 0%/2.1%	-0.3%/1.6%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	1月 0.6%/6.1%	0.6%/6%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 1.6%	1.0%
2月26日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 -5.7%	0.2%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 62.8	61.7

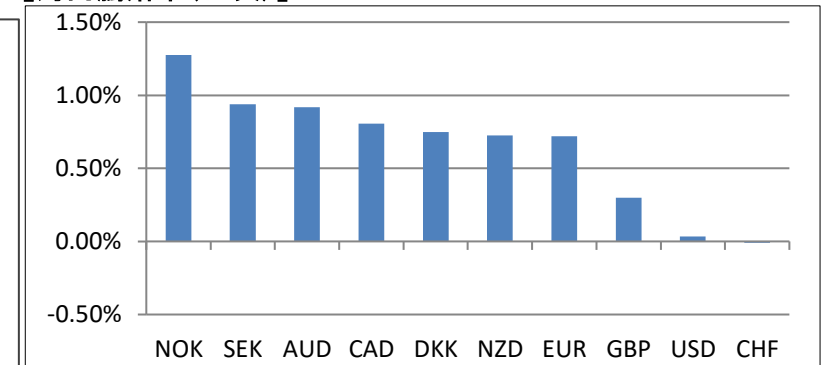
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -0.7%/0.1%	-1%/2.7%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.3%	-4.4%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 1.2%	2.2%
3月1日	00:30	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.50-116.00	1.0500-1.1300	127.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は下に行っていこの展開。東京時間は日経平均の反発等を受け堅調推移したもののその後は一服し115円台前半での推移。海外時間に入り、ロシアのウクライナ侵攻激化の報道を受けると一時115.15まで下落。その後、ロシアがウクライナとベラルーシで協議する可能性があるとの報道で地政学リスクが後退したこと、発表された米1月PCEコアデフレーターでインフレ加速が確認されたことを受け一時115.76の高値まで上昇したものの結局115.51でクローズ。本日のドル円はヘッドラインに左右され値幅は上下に振れるか。週末に米国やEU諸国によるロシアのSWIFT排除が決まった。これにより流動性確保の為のドル買い、リスク回避の円買いで上下に値幅の出る展開を予想する。また、本日は目立った経済指標もないため、ウクライナ問題に対して一喜一憂する流れは続くか。

東京	東京時間のドル円は115.55レベルでオープン。序盤は日本株の反発を横目にドル円は底堅く推移し115.62まで上昇。一巡後は、米金利の低下や月末前の実需の売りも観測され、115円台前半へ下落し、115.23レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は115.23レベルでオープンし、有事のドル買いで上昇。115.56レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は115円半ばでスタート。ロシアによるウクライナ侵攻を巡り、死傷者数や一部都市での爆発が報道されると、円買い優勢となった。また、月末絡みのドル売りも見られ、一時115.15まで下落。しかし欧州時間に入ると欧州株や米株先物の堅調推移が円売りのサポート材料となり、じりじりと上昇。早朝には「ロシアはウクライナ協議のためベラルーシに代表団を送る用意がある」と伝わったことから地政学リスクも後退した結果、アジア時間の下げを全て取り戻し、115.56レベルでNYオープン。朝方はPCEコアデフレーターが前年比で上振れる中、米インフレ加速が再び意識され、ドル円の下値をサポート。その後、米株の上げ幅拡大を眺めながら週高値を115.76まで更新。午後は週末前で積極的な取引が手控えられる中、115.60近辺まで反落。終盤はじり安推移で115.51レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1200近辺でスタート。前日下落の反動で1.1237まで上昇するも、地政学リスクを意識した売りを受けて1.1166まで反落。早朝はリスクオフモードが後退し、ユーロが買い戻され1.1222レベルでオープン。朝方は早朝の流れを引き継ぎユーロ買い優勢の展開。ラガルドECB総裁が「ECBIは価格や金融の安定に必要ないかなる措置でも取る用意がある」と述べたことも下値をサポート。午後には1.1274まで上昇し、結局1.1272レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小林